

お薦め情報・お得なキャンペーン

住まいの台風・強風対策!

台風の発生・接近・上陸は、7月から10月に多く、被害もこの時期に集中!

台風は、夏から秋にかけて日本列島に接近、上陸して度々大きな被害をもたらします。近年は台風上陸の回数も多く、大きな被害が発生する危険性が高まっているといえます。台風は突発的に発生しますが、予想進路や雨風の強さはニュースで事前に知ることができます。被害を最小限に抑えるために、家族のこと自分のこととして、日頃から対策について考えておきましょう。

[シャッター・雨戸・屋根材・カーポート]

住まいの中で台風による強風の被害を受けやすい場所は「窓」と「屋根」

- 飛来物が当たってガラスが割れると、室内が危険な状態に。
- 窓から強風が室内に流れ込むと、屋根が吹き上がるリスクも。
- 屋根材が吹き飛ばされるリスクも。

瓦や屋根材はもちろん、傘や植木鉢のようなものでも、強風で飛ばされると、窓ガラスを突き破ってしまうことがあります。ガラスが割れて室内に破片が飛び散ると、ケガの原因や避難の妨げになり大変危険です。

突き破って孔が空いた窓ガラスから強風が室内に一気に流れ込み、屋根が吹き上がって大被害になる恐れもあります。防犯を兼ねた1階の窓の対策だけではなく、寝室などがある2階の窓も、しっかりとした災害対策をおすすめします。

台風や強風で屋根材が吹き飛ばされると、家が雨漏りするだけでなく、ご近所の住居や歩行者に被害をもたらすこともあり、大変危険です。しっかり固定できる屋根材で、事前に強風や台風に備えてください。

台風が来る前にチェック! ~ 窓ガラスを割る原因を取り除く ~

① 家の外回りを片付ける

- ・ 庭・門まわり: 植木鉢やゴミ箱、サンダル、ガーデングッズや、自転車など強風で飛ばされそうなものは家の中へ。
- ・ テラス・ベランダ: 物干しは外して飛ばされない場所へ。

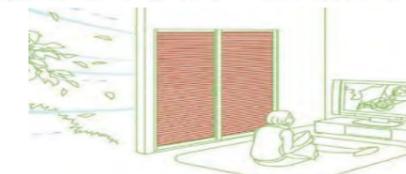


※ぞうきんやタオルも雨で濡れると、ガラスを割る凶器になることもあるので気をつけましょう。

※庭木やプロパンガスなどの室内に持ち込めないものは、ロープなどでしっかり固定しましょう。

② 窓の強化で飛来物に備える

自宅の外回りのものを片付けても、飛来物はどこから飛んで来るかわかりません。まず、シャッターや雨戸については必ず閉めましょう。シャッター・雨戸がない窓は、カーテンを閉めたり、飛散防止フィルムや段ボールを貼るなど、割れたガラスが飛び散るのを防ぐようにしましょう。



住まいの安心・安全を高めた方には、後付けできるシャッターや雨戸、割れても飛散しにくいガラス(防犯合わせ複層ガラス)がおすすめです!

シャッターや雨戸で、激しい風雨の不安を軽減。

リフォームシャッター TOSTEM

シャッターで台風時の飛来物から窓をガード。今の家にシャッターがない場合でも、今ある窓の上から後付けリフォームで取付け可能です。強風対策としてはもちろん、住まいの防犯や防音もアップ。

リフォーム雨戸(雨戸一筋) TOSTEM

壁の上から簡単に後付け可能。雨戸の付いていないサッシを雨戸サッシにすることができます。断熱、採風・採光と多彩な機能からお選びいただけます。

取替雨戸パネル TOSTEM

取替雨戸パネルは、危険な飛来物から窓ガラスが割れるのを防ぐだけでなく外の不快な音を軽減します。採風タイプ、防護断熱タイプ、標準タイプをご用意。



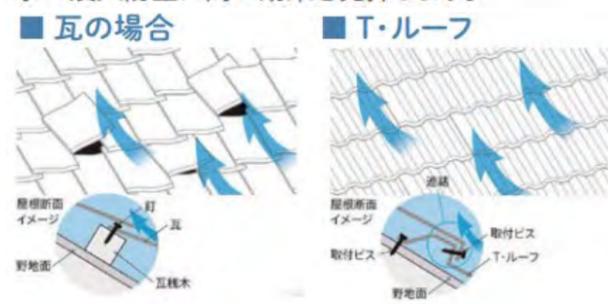
しっかりした屋根材やカーポートで台風対策をサポート!

T・ルーフ(石付鋼板屋根) LIXIL

雨水や強風に強い、インターロッキング工法。上下の屋根材をしっかり連結し、屋根面全体を一体化させるので、強風時の屋根材の剥がれ落ちや雨水の浸入防止に高い効果を発揮します。

カーポート SC1500 LIXIL

実は、カーポートの強風対策もその一つ。スマートなデザインはそのままに、強風や雪にしっかり配慮した耐風圧強度46m/秒相当、耐積雪強度50cm相当を実現。強風や雪にしっかり備えることができます。



ご自宅の「窓」「屋根」に、不安やご心配事などがありました地元のサンエースまで、お気軽にお問い合わせ下さい。安心な対策をご提案いたします!!
《ご注意》「屋根が壊れている」「屋根が剥がれている」など不安をおもる訪問販売が多発しております、ほとんどがウソです、その場で屋根には登らせないで下さい。

プチリフォームから大規模リフォームまで
サンエースならトータルでリフォームのご提案が可能です